

「西指宿中学校・北指宿中学校学校統合基本計画(案)」
に関する保護者・地域住民説明会開催結果

◎保護者(小学生・中学生)対象説明会

開催日	場 所	対象者校区	参加者			託児 利用	時間		
			男	女	計		開始	終了	
1月24日	水	指宿小学校 体育館	指宿小学校区			参加者無し			
1月25日	木	魚見校区公民館 講堂	2	0	2	0	19:00	19:50	
1月26日	金	指宿市役所 北側別館講堂	1	4	5	0	19:00	20:22	
1月30日	火	池田小学校 体育館	6	6	12	0	19:00	20:05	
1月31日	水	今和泉校区公民館 講堂	2	11	13	2	19:00	20:10	
参加者合計			11	21	32	2			

※ 各会場の質疑等の概要は別紙のとおり

◎地域住民・未就学児保護者対象説明会

開催日	場 所	対象者校区	参加者			託児 利用	時間	
			男	女	計		開始	終了
2月1日	木	魚見校区公民館 講堂	8	1	9	0	19:00	20:00
2月5日	月	指宿市役所 北側別館講堂	4	4	8	0	19:00	20:00
2月6日	火	指宿小学校 体育館	10	10	20	1	19:00	20:00
2月7日	水	池田小学校 体育館	13	3	16	0	19:00	20:15
2月8日	木	今和泉小学校 体育館	17	4	21	0	19:00	20:15
参加者合計			52	22	74	1		

※ 各会場の質疑等の概要は別紙のとおり

学校統合基本計画（案）保護者説明会質疑等の概要

【魚見小学校区】

○日時：令和6年1月25日（木） 19：00～19：50

○場所：魚見校区公民館講堂 ○参加者：2名

参加者） 西中のアンケートは、一緒になりたい意見が多いのか。

事務局） 令和4年度に実施した西中のアンケート結果は、「西指宿中学校は再編したほうがいいのか」という質問に対して、保護者は「すぐにでも再編したほうがいい」、「将来的には再編したほうがいい」が74パーセント。中でも、今和泉小学校区については、80パーセント以上がそう回答している。

再編時期についての質問に対しても「5年以内」の回答が一番多い。西指宿中学校としてもやはりなるべく早いほうがいいのかという結果になっている。

参加者） 中学校だけのアンケート結果なのか。

事務局） 幼児保護者から中学生までの保護者に対するアンケートである。

参加者） 1カ月位前に届いたものか。

事務局） 令和4年に市内の中学生以下の子供の保護者全員にとったものである。

参加者） この前届いたアンケートは。

事務局） 西中と北中の小中学生と幼児の保護者に対するアンケートで、前回は、「北中単体として再編したほうがいいのか」という質問で、今回は、「西中と北中を統合する案に対して進めていいのか」という質問のアンケート。

参加者） 北中は受け入れる側だが、西中の子供たちは数が少ない中で入ってくる。ケアは。

事務局） 設備面では、相談室を人目の付かない所にする等を考えている。でも、実際相談したいという時には難しいとは思っている。

今、中学校の生徒にアンケートを実施している。今の学校施設の好きなどころ、嫌いなどころ、変えてほしいところなど聞いているが、その他にも、「心配ごとや悩みがあるときに相談できる人はいますか」や、「実際相談する時には、相談しやすい環境はどんなかたちがいいですか」と。「いつ」、「どこで」、「だれに」ということを聞いている。今の中学生が思っている相談しやすい環境を聞いた上で、これを活用しケアをしていきたい。

参加者） 施設の改修は。

事務局） 南校舎、北校舎の全部をきれいにしようとしている。最初、特別教室（理科室、家庭科室、音楽室、美術室）の仮設教室を造り、特別教室（北校舎）の改修をする。特別教室の工事が終わったタイミングで、普通教室の仮設教室を造り、普通教室（南校舎）の改修を行う予定。

参加者） 仮設校舎の場所は。

事務局） 今後の検討になるが、イメージでは、南校舎の校庭側、昔、体育館があった所からテニスコート

までを使う。なるべく今の校舎から離れないほうが運用しやすいと思う。

参加者) バスターミナルの場所は。

事務局) 今の正門から入った所の武道館を壊して新しく造る予定。プールの場所を国道沿いの左側に寄せて、正門から入った正面から左側駐車場をバスターミナルと駐車場にできればいいと思っている。

参加者) 令和9年度の統合か。

事務局) 一番早くて令和9年度。全体の改修に20億程度かかる見込み。この規模の改修をしようとする
と、まず、仮設校舎を建てて、そこで授業ができるようにする。それから、校舎の改修に取りかかる
ので、大体2年程度の期間がかかると思う。

参加者) 部活の送迎はどうなるのか。

事務局) 今の提案では、平日、土曜日や夏休みなどは、授業と部活動が終わったとき、登校時1便、下校
時1, 2便。今の穎娃中がこのかたちで、土曜日などは午前中だけで、登校便と下校便を出している
が、部活動の調整等で、午前中のみのかたちにしていると思う。部活動数や人数が多く、体育館の使用
が、午前も午後もとなると、今後の調整。できれば、せっかく統合するので、部活もちゃんとでき
たら一番いい。

参加者) 北側校舎は、年数が経っているのか。自分たちが通っているときに建てたはずだが。

事務局) 30年以上経っている。体育館も12年、特別教室が34年、本校舎の一番古い部分が58年経っ
ている。今一番改修したいのが、ライフラインの総取替。水道管が古いので全部替えたい。トイレも
新しく造った所しか、きれいな箇所が無いので、トイレをできれば校舎内に入れて子どもたちが使い
やすいようにしたい。プールも古いので、できれば、正門から入って一番左に小学生でも使えるきれ
いなプールを整備して、バスターミナルも造るので、小学生はそのプールに行って授業をするよう
にできないかなと考えている。ただ、魚見小と今和泉小については遠泳があるので、学校のプールがき
れいになったほうがいいという意見もあると思う。今後、北中のようなかたちで、1校ずつ順番に学
校全体をきれいにしていく計画。一回こういうかたちで小学生でも使えるプールを造って、北中校区
内の小学校1校でも2校でも試してみて、良ければ広げていく。どこかの学校が大規模な改修する
ときに同じように拠点校プールとして、他の学校が一緒に使えるようにできないかと考えている。

参加者) なのはな館にはないのか。

事務局) プール自体はあるが、倉庫になっている。

参加者) そこにバスで行くのはどうか。

事務局) そのプールが使えるかどうか。高齢者の施設で高齢者が歩くための施設ですごく小さい。

事務局) また何かありましたら、住民説明会もあるので参加してほしい。

《意見なし》

以上

学校統合基本計画（案）保護者説明会質疑等の概要

【柳田小学校区】

○日時：令和6年1月26日（金） 19：00～20：22

○場所：指宿市役所北側別館講堂 ○参加者：5名

参加者） 柳田小学校が北中と南中に分かれることについてはどうなっているか。

事務局） 望ましい学校づくり調整会議で柳田小が北中と南中に分かれることについて、どうしたほうがいいのかという話があったと思う。調整会議の中の北指宿・南指宿中学校区会議の柳田小学校区会議で、「柳田小は今のままでいい」という意見が「どちらか一方に行く」という意見より多く、「北中と南中は研修会で中学校区ごとに行事予定を調整しているので、今の柳田小でも問題はない。今のままでいい」という報告が出されている。その後、最終的に中学校区会議でも話をして、「柳田小学校区で「今のままでいい」という意見があったので、南中校区としても北中校区としても、それでいきましょう」という最終意見の報告をもらっている。

一昨年とった中学校再編をどう考えるかというアンケートの時にも、柳田小が分かれることに問題があるのではないかという意見があり、この西中・北中統合計画案を作るときにもまた検討はしている。北中、南中、西中のそれぞれの中学校の生徒数と、北中に行く柳田小の子供たち、南中に行く柳田小の子供たちの生徒数と児童数を計算して、再編パターンを一度検討した。西中と北中の今提案しているパターンでは、令和23年まではある程度の生徒数が確保できる計算になっている。柳田小全体を北中に持っていく、柳田小全部を南中に持っていくという試算をした。小学校をどちらかに寄せることによって、どちらかの中学校が、かなり大きくなったり、小さくなったりするなどの問題が出てきた。

今回、中学校の再編については、西中を北中にまずは統合しましょうと提案。

柳田小校区の中で保護者から分かれることの問題が多いという意見が教育委員会にどんどん上がってくれば、そこはまた別のかたちで対処していかないとならないのかと思っている。柳田小校区の方がどう考えるのかが一番。

参加者） 意見は分かれると思う。

事務局） アンケート結果でも10件以上柳田小が分かれることについての意見をもらっている。

参加者） 統合すれば部活動を一緒にできるということでメリットのように書いているが、北中で部活動の地域移行の話があった。いずれは学校は部活の顧問をしない。土日もしなくなる。最終的には、地域にお願いするかたちになると説明があった。市として、どのようにサポートしていただけるのか。存続を保障してくださるのか。

事務局） 球技だったら野球経験者とか地域にいる。吹奏楽だったら経験している人がどの位いるのかと。指導者がいなくても、誰かがしないといけない。先生がしたらだめだという決まりはないようなので、指導してくださる方をどこからか探してくるといふかたちにはなる。学校教育課で部活動の地域移行の協議会を設置して、そこで地域移行をするためにどうしたらいいのか話合いがされるが、教育委員会

として学校再編も併行して話をしていけないといけないと思う。指導者がいなくなるということではないと思っているが、学校教育課に再確認する。

参加者) 20 億円かけて設備を新しくするというのは分かったが、学習環境として、例えば、理科の実験道具などが古いものが多く、実験をしたくても道具が古いからできないという。その辺はどう考えているのか。

事務局) 今、物価の高騰とかで建築に係る金額がどんどん、ここ 2、3 年で 1.5 倍から 2 倍に上がってきている。最近の建築工事とかの㎡単価で計算して、北中の校舎の平米数にかけて出した概算金額が 20 億円になっている。その他の教育環境について、この案では施設面のことが多いが、それ以上に何かできることがないのかというのを、今、中学生に対して、今の北中、西中の施設面で不満があるところ、変えてほしいところが、どういう所があるのかをアンケートをとっている。好きな部屋や場所とか。好きでない部屋や場所。その理由を聞いて、また、あったらいいなと思うものとか。こういうかたちでアンケートをとって、生徒が答えた結果も工事の設計の中にも入れられるものは入れていきたい。設備が古いから実験ができないとなると、授業の問題になってくる。もし、そういうことがアンケートに書いてあれば教育委員会のほうでもしっかり対応していきたいと考えている。やはり子供たちの声も聞いた上で進めていきたい。

参加者) 柳田校区の北中と南中の境目に住んでいるが、再編するのにあわせて進学先を選択できる方法はないのか。

事務局) 指宿市ではないが、県外で市内の学校を選べる自由選択制になっている市町村もある。指宿市は市の規則で、この行政区はこの中学校になると定められているので、選ぶことはできない。例えば、西中の生徒がバレーをしたいが、西中にはバレー部がないので、校区外通学の申請をして、許可されれば北中に通うことができる。ただ、その場合は、親の送迎等が必要になってくる。

参加者) 今後、そういう計画は指宿にはないのか。

事務局) 西中と北中のことだけではあるが、西中と北中の統合が決まった場合、西中の子供たちが早く行きたいという理由で、北中に通うのは調整してできるようにしたほうがいいと考えている。

参加者) バスターミナル（以下「BT」という。）は今の敷地内に設けるのか。新しく土地を購入するのか。

事務局) プールと武道館の老朽化が進んでいるので、解体して正門から入って左側の駐車場のほうに移して、今の武道館、テニスコートのある正面のあたりを BT、駐車場にするよう提案したい。

参加者) テニスコートも別の場所になるのか。

事務局) 運動場、バックネットの場所とかも含めて、全体を見直して、きれいにはまるように設計をしていきたい。月見ヶ丘と元の体育館があった辺りがあまり使われていないので、全体を見直せば、きれいに入るのではないかと考えている。

参加者) 柳田小の特別支援学級は、昔は全校で 1 クラスしか無かったが、今、3 つか、4 つある。

事務局) 柳田小は 7 クラスある。

参加者) 中学校でも必要だと思うが、統合されたら教室は足りるのか。

事務局) 今の北中の教室は、学級数が多い時に造られているので、教室数は足りると思っている。統合後の教室については、各学年を4学級取った上で、特別支援教室も4教室確保したいと思っている。その他に、多目的教室といって各クラスで分かれて授業する教室があるが、そういう教室を3教室。今の計画案では、家庭科室と技術室が昔ながらのかたちで2つつあるが、調理室と被服室、木工室と金工室、それをそれぞれ1教室にまとめて、今の北校舎に理科室まで全部入れていけば、南校舎が広がるので、校舎内にトイレを造ったり、他の教室を整備したりできるのではないかと考えている。

参加者) エレベーターも造るのか。

事務局) その棟の横に新しく増築するかたちになると思う。

参加者) バリアフリーにするということは、今後、養護学校とかの子供たちもそこに入ることになるのか。

事務局) それはない。養護学校になると基準がまったく違ってくるので、エレベーターだけでなく、他の設備面も全く違うものになってくる。足を怪我したりして車いすで通わないといけない子供たちが全ての教室に行けるようなルートを造るといようなバリアフリー化を考えている。

参加者) 柳田小に支援学級が7学級あって1クラス8名という定員がある。柳田小だけが市内で唯一、通級という支援を行っていて、市内の小学校全部の通級学級として指定されている。ことばの教室とか、通級の子供たちもたくさんいるので、どうしても8クラスは確保しないとけない。そういうことで、確かに数的には多いが、実際、その数で十分足りるのかなと思う。

事務局) 特別支援学級は、1学級に8人までということで学級を作っていく。人数が多くなると部屋の数も増やさないとけなくなる。例えば、多目的教室を最初から半分に仕切れるようにしておくとかで対応していきたい。

参加者) 今のアンケートは保護者と地域の方の結果であって、子供たちの意見で、もし、再編したい、部活動いっぱいやってみたい、出会いもたくさんしてみたい、いろいろな考えにも触れてみたいということで、子供たちのアンケート結果がものすごく多かった場合、それを基に、保護者の方、地域の方に納得してもらうことはできないのか。やはり、教育を受けさせるのは大人だけど、教育を受けるのは子供自身で、主体となるべきは子供でないかと思う。そこを考えたら、再編反対の意見を持つ方からすれば、7割超えたから再編しますというやり方は、反発をかう。子供たちのアンケート結果を保護者の方にこういう結果が出ました。こういうことを子供たちが望んでいますと、できるだけ納得をしていただいた上で再編にいったら、いいのではないか。

事務局) 今の中学生に再編についてではなく、今の中学校についてなどのアンケートをしている。再編についてのアンケートは意見として対応する。

参加者) 子供たちのアンケート結果が出た時に、地域と保護者に提示する意向はあるのか。

事務局) 子供たちのアンケートをとっているが、まだ結果が出ていない。このアンケートの最後には、今いる生徒さんたちは統合するときにはいないので、「もし、今、西中と北中が統合するとした場合、心配になることや期待することがあったら、自由に記入してください」と聞いているところだが、こ

の中で、子供たちにしっかり答えていただければ、教育委員会も生徒の意見に答えることができる。そこは、結果が出次第進めていきたいと思う。

参加者) 山川小がどうだったかというアンケートだったり、スクールバス（以下「SB」という。）を利用してどうだとか、良い点もあれば、悪い点も。それも参考にしながら、取り入れてもらえたらなと思ったところです。

事務局) 教育委員会としても統合して終わりではなく、統合後のケアを考えて、統合の1年後に4年から6年生に対して「統合したことでどうなりましたか」とアンケートをとった。8割以上の子供たちが「良かった」ということで回答している。同じようなアンケートを保護者にもとったが、保護者はそれより若干低いかたちで回答があった。子供たちのほうが統合を喜んでいるという結果が出ていた。

参加者) 保護者の方で満足していない方は、どういう意見が多かったか。

事務局) SBでの通学に対してもっと良くしてほしいとか。

SBの停留所についても子供たちが行きやすい場所を選んでいるが、やはり子供たちが安全にバスを待ってられる場所をつくるのが大変で、そういう場所を選ぶと限られてしまった。今回、中学校に関しては、路線バス形式、道路にバス停を造る。

参加者) 北中と南中に分かれる柳田小校区の中の再編はあるのか。

事務局) 柳田小校区として中学校に上がる時の大きな課題となって全体として話が上がって来た時に、初めて教育委員会が動くかたちになると思う。

参加者) 柳田小の保護者から話が上がってきたらと言うが、最初言ってきたのは教育委員会の方だ。課題が上がってきていたのか。

事務局) 課題というか、今と同じような状況ということ。全体として多くはないけど、アンケートをとると中学校に上がる時の問題が必ず上がってくる。それを基に柳田小校区として中学校に上がる時の問題をどうしましょうかと話をした。教育委員会から言ったというよりも保護者から声があって教育委員会から返したかたちになっている。

参加者) 途中までは、南中に行けると思って期待をしていた。

事務局) 中学校側で考えた時に、南中に行く柳田小の数より北中に行く柳田小の数が多い。南中に行く子は丹波小の中に入っていきから立場が弱いという意見がある。

参加者) 市では、どうして、自由選択性を取り入れないのか。

事務局) 今の中学校の区域は、中学校を中心として徒歩、自転車で通える範囲の地域を指定している。これを越えるようなかたちで選択すると、どうしても親の通学の補助が必要になってくる。親が確実に3年間通学補助できることを保障して、選択できるかたちになっていると思う。

参加者) 親が3年間、ちょっと遠いけど送りますという保障を言えば、北中校区の人も南中の許可がおりるのか。

事務局) 今は、北中の子が南中に行きたいからだけでは、行けない。南中のすぐ近くに祖父母の家があるから、帰る時間帯に親が働いていて、帰った時に一人だけしかいないとかで、祖父母の家を帰宅する家として、ここが南中校区だから、南中に通うというのはできるが、親が朝早い時間にいない、帰る時間にいないという理由が必要になったり、この部活動がやりたいが、北中にはないから南中に行き

たいというのは行ける。

参加者) 友達が南中に行くから、親が送迎するから、子供のためにというのは。

事務局) 今のところ、それでは許可していない。校区外通学という仕組みがあって、許可できる内容であれば。極端な話になるが、北中でいじめにあいました。北中に行けない状態になりました。それを理由に南中に行くことはできる。

《意見》

①子どもたちに再編についてのアンケートをとって、結果を活用した方が良いのではないか。

以上

学校統合基本計画（案）保護者説明会質疑等の概要

【池田小学校区】

○日時：令和6年1月30日（火） 19：00～20：05

○場所：池田小学校体育館 ○参加者：12名

参加者） 西中と北中の築年数を教えてほしい。

事務局） 西指宿中学校の管理教室棟については1966年に建築、57年経っている。特別教室棟は1966年、1967年に建築され、56年から57年が経過している。北指宿中学校は管理教室棟、教室棟が、1965年から1969年にかけて建築され一番古いもので58年経過している。

参加者） アンケート調査の結果の割合等は出ているが、回答率ほどのくらいなのか。

事務局） 令和4年11月から12月にかけて実施した保護者アンケートの対象者は、0歳から中学生までの子供の保護者全員に送っている。西中校区においては、対象者127人、回答者107人、回答率83パーセント。地域住民は、対象者157人、回答者44人、回答率28パーセント。保護者のほうはかなりの方が回答している。

参加者） 地域住民の方の回答がもう少しほしい。

事務局） 地域住民のほうは、中学校を卒業した15歳から70代の方までを各地域バランスよく抽出した。結果、高齢者（60代、70代）が多い地域にとっては、その対象年齢の人数が少なくなる。地域への思いがある方にアンケートが届いていなかったのではと思っている。高校生も対象者として送っている。各校区バランスよく市内で2,000人を抽出した。池田小校区の対象者は53人になっている。

参加者） 統合計画案に小学生の使用も兼ねたプールを計画しているとあるが、なぜ、小学生まで含めた計画に至ったのか。

事務局） 各学校に小中学校のプールがあるが、老朽化がどこもかなり進んでいる。また、プールの維持管理費がすごく高くなっている。柳田小のプール移設の際は、1億6千万円程度かかっている。また、夏場の2週間位の利用しかないのに、全てのプールを維持していくのは難しいと考えている。例えば、鹿児島市、始良市、鹿屋市など市民プールを持っているところは、市民プールにバスで行って授業したり、近くのスイミングクラブで授業をしているところもある。指宿市には、市民プールやスイミングクラブが無いので、これをどう解消していか検討した結果、まず、大規模な改修をする北中で、低学年の小学生も使えるようなプールを一つ整備して、バスターミナル（以下「BT」という。）や駐車場も利用して中学校区内の小学校1校か、2校でも、このプールで授業ができるようにできないかと考えてこの提案をしている。

参加者） 水深等は小学生と中学生では規格が違ってくると思うので、無駄な投資にならないか。小学校は柳田小があるので、そちらで小学生の拠点プールができないか。中学校の拠点プールは北中として、中学生だけに特化したほうが費用も、無理な運用にもならないのではないかと。

事務局） 小学校と中学校の水深の規格は1.1メートルで同じ。飛び込みで事故があったからは、水深をか

なり深くするか、浅いプールで飛び込みをしないかたちで授業するようになっている。基本的には、同じ大プールでできるようにはなっている。ただ、低学年が使う場合は、60センチ位の小プールが必要になるので、これを整備しようと考えている。拠点校プールとして利用するとしても、年間で8時間から10時間、各学年ごと2時間単位で行ったとしても、同じ学校で3校位までしか一緒にはいできないので、南中と北中で共有化するのか、また、小学校で造るとしても小学校のどこに整備していくのか、今後検討していきたい。

参加者) 駐車場は、スクールバス（以下「SB」という。）通学者の保護者用として60台程度確保したいとあるが、単純に駐車場が60台増えると考えてよいのか。

SBの運行について、穎娃中を参考にしたということだが、なぜ、穎娃中を参考にしたのか。山川小の前例があるのに、山川小との運行の違いとか、何かあるのか。

事務局) 駐車場について、案では具体的にどこに造るかは載せていない。提案しようとしているのは、今あるプールを壊して、新しいプールを正門から入って国道側の左奥に設置できれば、現在のプールがある場所を駐車場にしたい。夜間の体育館利用等で使いやすいのではないかと思う。あとは、正門入って直ぐの武道館を壊して、新しい場所に造り、空いたスペースにBTを造り、その中にもある程度の駐車スペースを確保し、今の西中校区の保護者の方が利用できるように考えている。

山川小学校のSB運行については、6歳の子供から利用することを考えて、乗車確認を採用した。中学校のSBについては、ほとんどが路線バス形式。バス停に生徒が待っていて乗車する。今回は中学生なので、路線バス形式で提案したい。今のところ、穎娃中並みということで提案しているが、土曜日や夏休み期間中の運用で、部活動で体育館を朝と昼とそれぞれ利用しないとイケないとなった場合は、やはり2便必要になってくると思っている。

参加者) ケア対策は。山川小が統合したが、トラブルやケア対策はどうだったか。

事務局) 相談員の配置ということで提案した。山川の4小学校が一つになったので、子供たちがなるべく相談しやすい環境をつくるということで、4小学校に割り当てていた相談員の回数をほぼ山川小に充て、相談員がいる回数を増やした。

山川小の統合から1年位経った頃に、山川小の児童4年生から6年生までの児童とその保護者に「統合してどうだったか」というアンケートをとった。児童の8割以上が「統合して良かった」という回答があった。保護者については、6から7割程度の「良かった」と「まあまあ」という回答があった。通学方法がSBに変わって、SBで通学することによって体力面が落ちてしまったとかいう回答があった。あとは、子供たちが少ない所から多い所に行った、また、違う学校の子供たちが来たということで、「子供たちが学習面でなかなか集中できない環境になった」とか、親は、そういう回答が多かった。でも、子供たちは、「ほとんど良かった」、「友達が多くなって良かった」という回答。

参加者) プールを道路側に造ると言われたが、道路側は車は通るし、正面から見て左側は民家。どう造るのか。また、将来、学校に行くのは子供たちなので、今の小学生の意見を聞くため、子供たちのアンケートをとってほしい。

事務局) プールは、国道沿い、民家の近くになるので、外部からの視線を遮ることができるようなフェンス等を設置して、外からは見えないようにしたいと考えている。また、拠点校プールとして提案する

場合は、天候に左右されると時間の調整が難しくなるので、屋根を設置して、少しの天気の悪さでも使えるようなプールが造れればと考えている。

今の小学生に対して、アンケートをとることも検討した。中学生は判断能力も出てくるので、中学生に対しては西中と北中が統合するとした場合、心配することや期待することなどがあつたら、教えてくださいという内容でアンケートをとっている。小学生については、今のところ予定はしていないが、なかなか難しいと思っている。

参加者) 再編という言葉を使わなくても他の小学校と一緒にするんだよとか、子供たちに分かりやすくアンケートをとらないのか。実際、子供たちにも想像ができる。何も知らないまま、大人が勝手に決めた再編で子供たちが影響を受けるし、一人の人間として考えがあると思うので、子供たちにもアンケートをとってほしい。

事務局) 小学生のアンケートについては、どうかたちになるか分からないが、検討を進めたいと思う。教育委員会では、子供たちに意見は聞いたとしても学校統合の決定の責任ついて、決めるのは必ず大人がしないとイケないことと考えている。保護者の意見を中心として、保護者の7割以上の賛成を持って、案を計画として進めるのは大事なことだと思っている。

参加者) 工事期間中、今の北中内に仮設教室を設置して、支障がないようにするということが、校庭に配置できるのか。

事務局) 北中は元の体育館が今の南校舎の校庭側にあつた。校舎から運動場のトラックまでの間にテニスコート、武道館のスペースもある程度あるので、仮設校舎はそのスペースを活用して設置できればと考えている。

参加者) なるべく、今の北中の生徒たちに支障がないように配慮してほしい。

《意見》

- ①今の小学生についても、それぞれの考え方を聞くために再編についてのアンケートをしてほしい。
- ②統合となった場合は、今の北中の生徒たちに支障がないように配慮してほしい。

以上

学校統合基本計画（案）保護者説明会質疑等の概要

【今和泉小学校区】

○日時：令和6年1月31日（水） 19：00～20：10

○場所：今和泉校区公民館 講堂 ○参加者：13名

参加者） スクールバス（以下「SB」という。）での通学になるが、今和泉校区で何か所位の停留所を検討しているのか。場所によっては、自転車で通学したい子もいると思う。そういう対応はどのように考えているか。

事務局） 穎娃中の路線バス形式での運用を参考にしている。瀬崎からのルートは、路線バスのバス停と同程度を考えている。池田からのルートは、生徒の住んでいる所を地図に落とし、今後検討する。

北中に近い西中の生徒については、SBを利用する、しないの申請を出してもらうが、SBが一番安全な通学方法になると思っている。なるべく負担がなく、安全に通学させられるか、また、部活動の対応についてもいろいろ考えた上で提案している。

また、土曜日や夏休み期間中の部活動での登下校は、登校時、下校時各1便で提案しているが、午前便、午後便で、2便運行しないといけない場合もあると思っている。

参加者） 早い段階で北中と部活を一緒にしようとなったときに、その送迎は保護者がするのか。その辺を含めて考えてくれれば助かる。

事務局） 部活動は学校活動の一つなので、一緒に部活動をにする場合、マイクロバスで送迎したり、市の予算の中でしていくものだと考えている。毎日の練習の送迎はなかなか難しいが、合同練習を月に何回する、土曜日の練習でする等が決まれば対応していく。

参加者） 北中に行く西中校区の生徒は、どの辺が一番多いのか。バスは、運転手を雇うのか、業者に委託するのか。

事務局） 令和8年度で小牧・瀬崎地区14名、岩本地区11名で25名。令和9年度には24名程度。

参加者） 停留所の設定が難しそうだが、停留所は道路沿いに置くとか、何か基準があるのか。

事務局） 今は基準はない。国道沿いに設け、近いバス停まで出て来てもらう。西中付近の生徒は、池田校区からの便に乗車させるのかも検討する。年度で生徒数のばらつきがあるので、年度でルートが変わるかもしれない。運行は、バス会社への業務委託を考えている。

参加者） 採算の見込みがあればやってくれるが、難しいのでは。市内業者はあるのか。

事務局） 鹿児島交通ともう1社ある。穎娃中は、年間1ルートにつき、1,000万から1,500万位で委託している。2ルートであればその倍、また、土曜日の運行が2回になれば、もう少し上がってくると思う。委託で提案できればと思っている。

参加者） 学校再編の費用は、国からの補助金があるのか。

事務局） 学校施設を改修する場合、国から工事費の3分の1程度の補助金がある。これが、学校統合をするときに限り、10分の5.5まで補助率が上がる。現在、市が財政改革をしており節約しないといけ

ないが、統合するときに改修すれば補助率が高いので、子供たちのためにできることが増えてくると思っている。

参加者) 西中の維持管理費等を今後のバス運行や改修に補填できるのではないかと。

事務局) 1校減るだけで、維持管理費はだいぶ減る。ただ、学校が大きくなるので、実際2分の1にはならない。ある程度費用の削減はできていると思っている。

プールは、北中校区の小学校が拠点校プールとして使えるようなかたちで整備できないか考えている。そうすることで、市全体の経費も落とすことができ、子供たちもきれいなプールで授業ができる。

参加者) 全小学生が北中のプールを使えるということか。

事務局) プール授業の期間が短く、その間に各学級8~10回位のプール授業が必要なので、校区の全ての小学校を一か所で行うのは、なかなか難しい。どの小学校にするかは今後検討し、小学校の施設整備も今後進めていく中で、どうしていくか検討したいと思っている。

参加者) 統合のためのプールの改修で、生徒が使えない時期が発生するのか。

事務局) プールについては、新しい物を建ててから、古い物を壊そうと考えているので、使えない時期はない。今の計画では、まず、特別教室用の仮設校舎を造り、特別教室棟の改修をし、改修が終わったら仮設校舎を各学級が使える普通教室として設置し、本校舎の改修を行う。校舎の改修が終わったタイミングで、プールと武道館を新しい場所に設置した上で、古いのを解体して、その場所に駐車場やバスターミナルを造っていければと考えている。

参加者) SBの申請書を出していて、今日は病院に行くからバスには乗らないとか、そういう連絡手段も必要なのか。

事務局) 基本的には、学校の欠席連絡。バスが路線バス形式になると、学校への連絡だけになると思っている。

参加者) 基本的には自転車通学をしたいが、雨の日にはバスに乗りたいというときは、申請はしておくのか。両方使えるのか。

事務局) SBに乗らない申請をしている人が自転車補助も受けていて、バスに乗ると問題がある。

ただ、学校としては、その子の通学方法を把握しておかないといけないので、都合のいい時だけSBというのは、難しいと思っている。今、自転車通学で北中まで行くときに、どこを通るのが一番安全かと考えるがルートが見つからない。海沿いは雨や台風の時は危ない、国道は車が多い、中道は帰る時真っ暗、結構難しい。バスが一番安全になると思っている。

参加者) バス停まで、自転車で行くというのはどうか。

事務局) 学校との話になると思うが、駐輪場がないと置けないと思う。学校としては、基本的には徒歩でバス停まで行くのが正式なかたちになると思っている。

《意見なし》

以上

学校統合基本計画（案）地域住民・未就学児保護者説明会質疑等の概要

【魚見小学校区】

○日時：令和6年2月1日（木） 19：00～20：00

○場所：魚見校区公民館 講堂 ○参加者：9名

参加者） 南中の生徒数は。

事務局） 309人。

参加者） 合併すると、北中の人数が多くなる。

事務局） 現在、北中303人、西中59人。令和9年4月で10名程度減って350人程度と考えている。

参加者） 柳田小は、北中と南中に分かれるかたちのままか。

事務局） そのままです。

参加者） 改築は、どの位の期間がかかるのか。

事務局） 工事だけで2年程度かかる見込み。体育館以外の施設は、全て改修や建替えを考えている。まず北校舎（家庭科室、技術室）を改修するために、南校舎の校庭側に仮設校舎（家庭科室、技術室）を設置して、北校舎を全て改修をしたい。その後、南校舎（本校舎）を改修するため、仮設で職員室や普通教室を設置し、本校舎を全て改修する。次にプールと武道館を新しい場所に造ってから、解体する。解体した場所に駐車場やバスターミナルの整備ができたらと考えている。

参加者） 生徒が仮設教室で勉強をする期間が長いのは大変ではないか。

事務局） 特別教室棟の改修期間として、4、5か月はかかると思っている。今の案では、特別教室棟を改修するときに理科室まで北校舎に造りたい。本校舎の工事が広いので、こちらのほうが期間は長くなる。

参加者） できるだけ仮設の期間を短かくして、生徒に負担がかからないようにしてほしい。

事務局） 快適な環境になるように、エアコンの設置、トイレも同じ仮設の中に設置できるようにしたいと考えている。

参加者） 柳田小が北中と南中に分かれることについて、柳田校区として今後もこのままでよいと総意は得ているのか。

事務局） 令和2年3月に望ましい学校づくり調整会議の北・南指宿中学校区会議の報告書がある。中学校区会議の中の柳田小学校区会議で、柳田小学校区としては、今の分かれて中学校に行くかたちを今後も継続していくと決めて、それを中学校区会議で報告し、柳田小の意見としてそのままでもいいというのであれば、その意見を尊重し、今のかたちでいったほうが良いと報告されており、今も、それが変わっていないという認識でいる。

ただ、アンケートをとると、保護者の中から、分かれることによって子供たちが寂しい思いをして

いるとの意見がある。柳田小学校区として、この問題が大きくなり、検討してほしいという要望等がくれば、その段階で協議をしていきたい。

参加者) アンケートで7割以上の賛成と言っているが、今日の説明会は参加者が少ない。まだ、しっかり周知しないと7割以上の賛成がもらえないのではないかと心配している。

事務局) 今のアンケートは、0歳から中学生の子供を持つ全ての保護者と西中校区、北中校区合わせて600人の地域の方に送っている。説明会の周知は、1月中旬にチラシを全戸配布した。今後も、再編だより等で周知していきたい。

参加者) アンケート7割以上とはどういうことか。

事務局) 統合計画案の概要と一緒にアンケートを送っている。「この学校統合計画案のとおりに中学校の統合を進めてほしい」の回答が7割を超えた場合に計画を進める。

参加者) 令和4年のアンケートでなく、今から送るのか。

事務局) 今、実施しており、2月9日が締切になっている。

参加者) それが7割を超えたら、進めていくというのは分かった。その後、案が取れた計画の策定からのスケジュールは、どのような予定になるのか。

事務局) アンケート結果で7割以上の賛成があった場合は、3月上旬の学校再編協議会で、この基本計画の最終案の確認をしてもらう。その後、3月の定例教育委員会で、学校統合基本計画の策定を行い、4月以降は、今回とったアンケート結果を示しながら説明会を実施したいと考えている。早く統合してほしいという意見が多い場合、早ければ6月議会に統合についての学校設置条例の改正を提案したいと考えている。令和9年4月の統合を目指すためには、なるべく早いほうがいいと思っている。議会の承認が遅れると統合が若干遅れてくると考えている。

参加者) 基本計画案に載っているアンケート結果は、北中校区は、再編していいという方は5割もない。心配なので、しっかりと周知して、こういう説明会にも来てもらって、地域の賛同を得ないと7割もらえないのではないかと思う。最終的な結果はどのくらいになりそうか。

事務局) 案のとおり統合してほしいという回答が一番多いと思われる。

参加者) 回答者の7割なのか。対象者の7割なのか。

事務局) 回答があったうちの7割になる。

参加者) 地域へのアンケートは、無作為なのか。

事務局) 無作為です。保護者を除く西中、北中校区の地域の方、中学校を卒業した15歳から70代までの方を対象として、600人を抽出している。そのうち、魚見小校区は96の方に送っている。10代から70代の方までバランスよくなるように考えたが、どうしても世代の人数の多い60代、50代の方は、対象となる確率が低くなっているのかなと思っている。

参加者) 今の回答率は、何パーセントか。

事務局) 保護者は40パーセントは超えている。地域の方は、少し低い。

参加者) 3月に定例教育委員会に諮り、4月以降、また説明会か。

事務局) アンケートでこのままの案がいいというのが多かったとしても、案に要望があった場合、必要な

修正を行って計画にする。計画ができれば、今とっているアンケート等の結果を含めて説明していきたいと考えている。同じような説明会になると思うが、それぞれの小学校区、中学校区であるのか、今後検討する。

参加者) できるだけ、アンケートの回収率をあげてほしい。

事務局) 地域の方のアンケートも重要ではあるが、やはり、今の保護者、これからの子供たちのことになってくるので、保護者のアンケート結果が8割以上、9割あったとなると、その意見のほう尊重されるとは思っている。

参加者) アンケートは無記名か。

事務局) 無記名。アンケートは提出しやすいように、QRコードも設けている。質問内容も少ないので、簡単に回答できるようにしている。

参加者) 今回は中学校の再編だが、魚見小の再編は、どうなっているのか。

事務局) 今は、どこの小学校も具体的な再編計画はない。ただ、小学校区のほうから地域の意見として、再編をしたいと声が上がってくれば、その時は直ぐに対応するように考えている。

参加者) 保護者の意見も大事だが、地域の意見もしっかり聞くために、いろんな会議等に説明して回るような取組はできないのか。早く再編できたらいいと思うので、やはり動いてもらいたいと思う。こういう案があるが、やはり、地域からの声は聞こえない。だから、少しでも取組を理解してもらうために、もっと発信するようにしてほしい。

事務局) 今日の説明会も、参加してほしいということでチラシを全戸配布した。5小学校区の保護者説明会が終わったところだが、北中校区と西中校区で、少し温度差があると感じている。説明会を開くだけでなく、今後、PTA総会などに出向いて、説明をしていければと思っている。地域の方も同じように出向いて説明をしていきたい。アンケートを送った方には出前説明会案内のチラシは同封したが、送付件数が少なかったなので、今後、どういう周知できるか、また考えていきたいと思う。

参加者) 計画案は、統合して北中になるということだが、西中校区がどう考えているのか少し確認したい。まだ、西中校区の地域説明会がないということだが。

事務局) 池田小校区、今和泉小校区の保護者説明会を行ったが、参加者も多く、活発な質問もあった。質問としては、反対というよりは、統合でバスの運行はどうなるのか、制服等がどうなるのかの詳しいことを聞きたいなど、統合で私たちはどう変わるのか。その辺が気になっている様子だった。

《意見》

- ①できるだけ仮設の期間を短くして生徒に負担がかからないようにしてほしい。
- ②保護者の意見も大事だが、地域の意見もしっかり聞くために会議等に出向いて説明しもっと周知してほしい。

以上

学校統合基本計画（案）地域住民・未就学児保護者説明会質疑等の概要

【柳田小学校区】

○日時：令和6年2月5日（月） 19：00～20：00

○場所：指宿市役所北側別館講堂 ○参加者：8名

参加者）「保護者や地域住民との合意形成」とあるが、ここに関してはどのような取組なのか。

事務局）アンケートの結果7割以上の賛成としているが、今、西中と北中校区の0歳から中学生まで保護者全員と保護者以外の西中・北中校区に住んでいる住民から600人を無作為抽出して、その方にアンケートをとっているところ。基本計画（案）の概要と一緒にアンケートを送っている。「1番、基本計画案のとおり中学校統合を進めてほしい。」「2番、案の内容に要望がある。」「3番、統合には賛成だが、今の計画案には反対。」「4番、西中と北中の統合には反対。」の4択になっている。基本的には1番が7割を超えれば、そのまま合意形成ができたと考えている。2番は、この要望も受けた上で、内容に変更があれば、変更をしたかたちで、より良い統合基本計画を策定し、この先に進んでいくようなイメージで考えている。

参加者）改修する校舎の工事期間中は仮設校舎だが、この仮設校舎はどちらのほうに設置する予定か。

事務局）今、提案しているのは、令和6年度に設計をして、令和7年度から校舎を順番に改修していく予定。まず、今の南校舎（校庭側の教室）と校庭の間に仮設校舎を設置、北校舎の特別教室棟を全て改修したいと考えている。それが終わったら、普通教室として使えるような仮設校舎を同じ場所に設置して、仮設が完成したら、南校舎を全て改修したいと考えている。その後、仮設校舎を撤去して、プールと武道館について、新しい場所に新しいものを造って、出来上がったあとに、プールと武道館は解体して、そこにスクールバス（以下、SB）のターミナルや駐車場を造れたらと考えている。

参加者）無作為に600名位にアンケートをとっているということだったが、当事者の子供達や現在の保護者の皆さんには、全てアンケートはとったのか。そういう方々は、対象でないのか。

事務局）保護者の方は、0歳から中学生の保護者全員を対象にアンケートをとっている。また、現在の中学生には、また別にアンケートをとっている。

参加者）山川小が再編されたが、その結果を教えてください。

事務局）山川小についても統合をした1年後に、子供達、保護者両方に統合後にアンケートをとっている。4年生から6年生までの児童と3年生から6年生までの児童の保護者のそれぞれからアンケートをとった結果だが、8割を超える子供達が「再編して良かった」という回答がきていた。保護者の方は「良かった」という回答が70パーセント位。どちらかという、子供達の方が統合して良かったという感覚は多かった。全体的には、子供達はほとんどが満足している。保護者の方が少し不満を持っている。アンケートの結果の中で、子供達と保護者の満足度が一番低かったのがSBのところだった。「よくなった」という回答は少なかった。ただ、「バスだろうが、徒歩だろうがあまり変わらない

かった」という回答なので、「悪くなった」という方は全体の2割はいない。「悪くなった」という回答の内容をみると、旧山川小学校の徒歩で坂を登って通っていた子供達が体力が落ちたというのがあり、そこが不満だという回答が多かった。

参加者) 山川だったら、鰻だったり、徳光よりの遠い子もSBに乗れたりするのか。

事務局) 山川小の統合の際は、小学校区で区切って。大成小は元々の徒歩。利永小、徳光小、旧山川小に関しては、全員SBとなっている。

参加者) 北中校区の子でも、すごく遠い子がいると思うが、そこはどうなのか。

事務局) 今の提案の中では、西中校区に限ってSBのルートを作っている。提案した内容にあるように、小牧から北中までの国道を通ってくるルートと池田湖の中浜のあたりから県道を通るルート、今和泉方面に行くのか、宮ヶ浜方面に行くかは、子供達のいる場所で検討しないといけない。その2ルートで旧西中校区の子供達がSBを利用する。実際、西中校区で歩いて行けるくらい近いという子供達もいるので、SBの利用に関しては、使うかどうかは申請をしてもらう。

参加者) 西中のアンケートについては、70パーセント以上が「統合したほうがいい」と、北中のほうは「分からない」という回答が多い。アンケートの中身は一緒か。

事務局) 全く一緒です。

参加者) なぜ、分からないのか。当局としては、どう考えているか。

事務局) 前回、アンケートをとった時の内容が、西中と統合したいかというアンケートでなく、「今住んでいるそれぞれの地域の中学校について再編が必要だと思うか」というアンケートをとった。なので、「今の北中に対して不満がない」というのが一番の理由だと思う。このアンケートの時にも生徒数、学級数が減っていますというデータも一緒に付けていたが、まだ、部活動もそれなりにあって、北中校区のみなさんは学校として問題がないという感覚で答えられていたと思う。この分からないの回答と一緒に自由意見もあったが、自由意見の中で、「具体的な提案をしてもらわないと再編というイメージがわからない」というのがまた多い回答だったので、今回は具体的な提案というかたちで、西中を閉校して北中に統合する提案をしている。

参加者) 学校名は「北指宿中学校」なのか。

事務局) 学校名は北指宿中学校、学校位置、校章、校歌、制服、体操服、ジャージ、校訓についても、全て北中のままでいくということで提案している。行事や教育課程については、西中と統合するので、お互いの中学校の行事なども調整して、新しく決めていきたいと提案している。

参加者) 令和9年4月を目標としているが、もう少し早まる可能性もあるのか。

事務局) 施設の工事に関して、最低でも2年かかると思っている。仮設校舎を造って工事を進めるというかたちになるが、工事の金額が大きいので、全て議決案件になる。契約をしてから、議会の承認を得ると順を追っていくと、どうしても工事期間が長くなるので、2年は必要だと思っている。

参加者) 現在、北中の同窓会長をしている。統合することによって、北中の同窓会はどうするのか。

事務局) 様々な項目について、3年かけて調整をしていく中にPTAも入れてある。PTAは任意の団体になるので、それぞれのPTA同士の話し合いになるところだが、再編協議会の中で、ある程度の提案をできればいいと考えている。同窓会についても、再編協議会の中で話を進めていければと思う。

参加者) どのくらいを目途にそういう一つの話合いをしていただきたいというのではないのか。

事務局) PTAであれば、資金の持ち寄りとか出てくるので、早めに必要な話をしておいたほうがいい。統合が決まれば、再編協議会の中でしていきたい。項目の一つとして、北中には同窓会があるということで項目上げをし、話ができれば、進んでいくと思う。最終的には、9年4月に運営できるように持っていければと思うので、最低でも、3、4ヶ月前までには、かたちが決まっていほしいと思っている。

参加者) この説明会は、西中校区はもう済んでいるのか。

事務局) 西中校区の保護者の説明会は終わったが、明日以降、西中校区の地域住民への説明会を行っている。

《意見なし》

以上

学校統合基本計画（案）地域住民・未就学児保護者説明会質疑等の概要

【指宿小学校区】

○日時：令和6年2月6日（火） 19：00～20：00

○場所：指宿小学校体育館 ○参加者：20名

参加者） 山川の小学校が統合されたが、こちらの小学校の統合は考えていないのか。池田小、今和泉小、指宿小、この子たちが1年生から同じ小学校になれば、中学校にも上がりやすい気もする。

事務局） 今のところ、中学校から再編していこうということで、西中と北中の統合を提案している。望ましい学校づくり調整会議で協議をしてきた中では、継続して小学校の再編も考えていくことは決まっているが、具体的にどこどこをどうするというのは、まだ決まっていない。

参加者） この計画案の賛成が多い、少ない、反対が多かったら、これは白紙に戻すと言っているが、これは皆さんにアンケートを実施したのか。賛成か、反対か、どのように決めるのか。

事務局） 西中校区、北中校区にいる0歳から中学生までのお子様がいる保護者全員にアンケートをとっている。その方とは別に西中、北中校区に住んでいる方から600人を抽出してアンケートを送っている。その結果として7割以上の賛成となれば進めていこうと考えている。

参加者） 私はアンケートをもらっていないが、私たちは反対、賛成というのはいえないということか。

事務局） パブリックコメントという制度で、この案についての意見募集を行っている。もし、意見等がある場合は、アンケート以外でも、市民に広く意見を募集しているところなので、誰でも意見を出していただければ有難いと思っている。

参加者） では、このパブリックコメントに、例えば千人反対という意見が出た場合はどうするのか。

事務局） 実際アンケートで保護者の7、8割が賛成している中で、千人の人が反対しているとなると、もう一度考え直さないといけないと思っている。

アンケートの結果として、保護者は賛成しているのに保護者以外の反対がある場合、実際一番関係がある保護者や子供達に影響がでてくる。そこに対して、どう理解を求めていくのかというのが今後の課題になってくると思う。

参加者） 西中を閉校するというので、山川小学校のような統合になるのか。それとも、北中の校歌も変わって、新しい学校の形態となるのか。

北中と西中が統合された場合、40年後まで頑張ると言われるが、令和9年に統合した場合に、また何年もしないうちに統合になる気もする。そうした場合、20億かけての必要性があるのか見解をお尋ねしたい。

事務局） 統合方法については、西中は閉校する。北中は、学校統合後も北中として継続すると提案している。学校名、学校位置、校章、校歌、制服等は全て北中のもので計画していく。ただ、行事、教育課程については、統合するので、西中の行事等も考慮した上で、新しく一緒になったかたちのものが作れるようにしたい。

今後50年程度の生徒数推移の試算では、統合した後の生徒数、学級数は、令和9年4月時点で、350人程度を予定している。そこから先、生徒数はどんどん減っていくと思う。令和38年には、全体で200人をきるような予想にはなっている。南中が200人から300人程度の学校規模になっていると思うので、その頃に旧指宿市の地域として、一つにするとか、山川、開間も含めた指宿市内で一か所の中学校にするとか、その頃に考えていきたい。施設面については、今後40年間をもたせるための工事としては、20億程度かかる工事が必要だと考えている。

参加者) 教育委員会として、中学校の規模は、大体何名位が理想と考えているか。

事務局) 令和3年9月に策定した中学校規模の適正化を図ることを目的とした第2次指宿市望ましい学校づくり基本方針の中に、指宿市の望ましい学校規模を上げている。中学校においては、全校で9から18学級、各学年で言うと3から6学級が望ましい学校規模だということで考えている。3学級をきってくるようになると、課題が増えてくると思う。

また特別支援教室があるが、今は、各学校4クラスから5クラス必要になってきている。それとは別に多目的指導教室とか、今の一つの学級を2班に分けて授業をしたり、いろいろな教室が必要になってきており、今度整備していく中で、教室を例えば半分で区切って利用できる教室の整備も考えている。

参加者) 統合される場合、SBは永嶺や白山は現在、北中か、西中か。

事務局) 北中です。

参加者) そこの子供達は、バスに乗れるのか、乗れないのか。

事務局) 今の提案では、乗れないことになっている。北中として継続することになるので、北中の子供達は変更をしないかたちになっている。逆に西中で北中が近いという子供はいると思う。そこへの対応を今後調整する。

参加者) 北中の保護者と地域の方々の大方の意見と西中の保護者と地域の方々の意見というのが、このアンケート調査の中でも、西中は切実に迫った問題で7割以上の方が両方とも必要だと、北中の保護者と地域の方は、地域の方がかろうじて50パーセントを超えているくらい。そういう意味では、基本計画案の案を取るためには7割以上の賛成が必要だと教育委員会も考えているのであれば、今日のこの参加人員を見ると、北中は受け入れる立場だからかもしれないが、少し少ない気がする。それが、アンケート結果の中でも、少し他人事なのかなというような気もするので、そういうところは、これからも教育委員会としても、例えば、地域公民館の我々や地域の総会とか、いろいろあるので、そういう場を借りた中で説明をするとか、そういうことをして、7割以上の賛同を得るようなかたちにしていけばいいのかなという気もする。最終的には議会の学校設置条例の改正は、特別議決で3分の2の賛同が得なければならないと思う。そこを踏まえれば、教育委員会が地域住民を巻き込んだかたちでの動きを今後やってほしいという要望です。

参加者) これから中学生に上がるような世帯は、この会議に来てほしい。今日は20人くらいしかいないが、これを機会にもう一回、北中校区も西中校区も保護者をまず中心にして、そして地域の我々を含め、こういった会議を何度か重ねていただければ有難いと思う。

事務局) 先週、西中、北中校区の5小学校区で保護者のみを対象にした説明会を実施し、その後、地域住民の方を対象とした説明会として、開催している。

山川小の統合の時に、地域の方の中に反対をする方がいたことがあり、その時の保護者の意見として、保護者の声が届きやすい環境をつくってほしいということがあったので、保護者説明会を先に行った。

《意見》

①北中校区は前回アンケートの回答率が低い。また、説明会の参加者も少ない。もっと地域の方も巻き込めるような動きがほしい。

以上

学校統合基本計画（案）地域住民・未就学児保護者説明会質疑等の概要

【池田小学校区】

○日時：令和6年2月7日（水） 19：00～20：15

○場所：池田小学校体育館 ○参加者：16名

参加者） 新しい新生中学校として生徒が学ぶ所ですから、学校名、校章、どう考えているのか。

事務局） 北中として継続するので、変わらない形で提案している。

参加者） 新しい校名と校歌をやったほうがいいのではないか。

事務局） 今の提案では、西中は閉校する。北中は学校名、学校位置、校章、校歌、制服等、校訓について、今の北中の物をそのまま使うというかたちで提案している。ただ、教育課程、行事とかは、西中と一緒にになるので、西中で今までやっていた行事を合わせたかたちで、作っていただけると考えている。

参加者） 現役の保護者からは、そういう意見は出なかったか。

事務局） 学校名を変えたほうがいいという意見は今のところもらっていない。

参加者） 人口減少なのでできれば、一つになった中学校をつくれればいいのでは。

事務局） 今の市内の生徒数の規模でいくと、新しい学校をつくるとなると10年以上かかる。令和4年のアンケート結果では、西中の保護者の方、地域の方も、7割以上の方が再編をしたい、できれば早い段階で再編をしたいという声が多かった。

参加者） アンケートの対象者は、私みたいなのところにもくるのか。

事務局） 保護者には全員送って、それ以外の地域の600人の方に送っている。

参加者） アンケート結果で決まるということか。

事務局） アンケートをとった結果、この案のままでいいという結果が多ければ、この案を進める。

参加者） スクールバス（以下、SB）で通学とあるがどこを通るのか。

事務局） 池田湖PAXの辺りから北中までのルートでどこを通すかは、まだ決まっていない。これを統合するとき、どこに子供がいるか。それを地図に落としてみて、子供が多い所でSBが通れる道を選んで行くと思う。

参加者） 小牧の人は、彩花菜館、下まで行くのか。

事務局） 今の時点では、今和泉小校区は彩花菜館にしているが、子供が多ければ、スタート地点が変わる、子供がどこに住んでいるかにもよる。

参加者） 山川小はどのように運用しているか。

事務局） 山川小では、子供達が安全にバスに乗れる場所に、子供達を集めて乗せている。

参加者） 池田のルートはどこを通すのか。

事務局） 西中校区の池田から北中に行くまでのルート。どこを通すかは、子供達がどこに住んでいるかで変わってくる。今後、子供の住む場所を見ながら考えていきたい。

参加者） 再編後の教室の規模について、どういうクラス分けになるのか。特別学級等の規模でしたときに、今の北中の建物で間に合うのか。

事務局) 北中と西中が統合した場合、令和9年4月では、350人規模になっている予想。その人数で計算すると、各学年4学級程度になる見込みで、普通教室は12教室を想定。それとは別に特別支援教室が4教室必要になってくると考えている。その他にも多目的教室を3教室設けて、トイレも校舎内に入れるように考えている。今の校舎の中に入ると考えている。

参加者) 市役所の周囲が、再開発になっているが、あの辺りは、北中校区か。

事務局) 柳田小校区の北中校区になる。

参加者) 柳田小から北中に進む子どもが増えるのではないか。校区分けをするのか。

事務局) 柳田小校区が北中と南中に分かれるかたちになっている。望ましい学校づくり調整会議で協議をした。結果として、「柳田小校区は今のままがいい」ということで報告を受けている。これが、北中のほうが多くなり、南中に行く子供たちが少ないから寂しい思いをしているという柳田小校区の意見が多くなってきた場合には、そこで柳田小をどうするかという話になってくる。

参加者) 小学校の再編はどうするのか。中学校の再編を先にして、小学校は残るが、他の市町村でないが、学園方式にしたほうがいいのではないか。

事務局) 小学校については、地域から小学校がなくなることに對して、子供がいなくなるのが寂しいということで、残してほしいという声が残っている。アンケートでもそういう結果が出ているので、子供、保護者の声として、大きな学校に行きたいという声が地域より大きくなり、教育委員会に統合したいという要望が出てくれば、直ぐ対応するようにしている。現時点の市内全域で考えると、生徒数、児童数が多いので、1校にまとめるのは、なかなか難しい。

参加者) 山川が再編したが小学校がなくなったところが、子供の声がしないという声が聞こえてくる。

事務局) 大成小校区の方々はあまり変わらないが、旧3校の方は、朝夕のバスの時間しか、子供がいなくて、学校から声が聞こえないから寂しいという話は聞く。山川小が統合した1年後に子供達と保護者にアンケートを実施した。子供達は8割以上が統合してよかった。保護者も7割以上が統合してよかったという結果がでていた。統合した山川小でそれぞれの地域の郷土芸能を学びに子供達を地域に行かせたりしている。

参加者) 西中と北中は、こういう統合計画案というのが出たのは、5年前のことで、その時は、猛烈な反対。5年経って変わった。そして、こういう計画を教育委員会が出したということは、すごくいいことだと思う。細かいことは、今意見が出たようにたくさんある。細かいことはあるが、こういうことを示すことができた。すごい。これだけです。

参加者) 実際、保育園児を持つ、今から小学生、中学生になる保護者が参加していないこの会というのが、どれだけ関心があるのか。実際7割を求めているのであれば、実際に来て意見を言うと思うが、そこを教育委員会はどう捉えているか。

事務局) 保護者の説明会を先週行った。各小学校区、保護者説明会を先に行き、今回は地域の方と幼児の保護者に対する説明会ということで開いている。池田小校区の保護者説明会でも、20名弱の方

の出席をもらって、1時間程度、いろいろ話をした。保護者の方が聞きたいことは全部答えられる環境をつくろうと思い、保護者と地域の説明会を別に行った。

参加者) 県議会だよりに、この中学校の統合の話が上がっていたと思うが、2月位に出たのかな、自分の周りの方から、もう決まったんだねという声を聞いたが、今日の説明だと決まっていな。今から策定するという話だったが。県では決まって動いているのか。なにか、そこに矛盾を感じたが。

事務局) 県の予算で、市の学校の統合が予算に入ることはない。来年度の県予算の中に載っているという認識はない。

参加者) 過去に部活動について、合同部活動ができるのなら、選択も増えるし、他の中学校区に行って好きなことができると思意見が上がった。なぜ西中に小人数でも部活を作れないのか。少ない選択から選びなさいではなく、子供達が本当にやりたいことをバックアップするというのを、なぜ今までしてこなかったのか。その辺を教育委員会のほうで子供達にアンケートをとったりしてきたのか。また、今回、同じように支援すると言ってるのであれば、どうかたちで支援するのか。

事務局) 中学校の部活動については、学校の教育活動の一貫として、必ず学校の教職員が顧問として担当するようになっていたので、西中の先生の数が少なく、誰が、どの顧問ができるかという選択になり、顧問の先生がいなかったのだと思う。今ある部活動を合同でしようというのは、すぐできるが、新しい部活を2人位でつくるというときの対応は、この後も今の西中が対応できるかによると思う。そこは、学校と相談するかたちになると思う。

参加者) 今回北中の改修は自治体が校舎の改修費を出すのは当たり前だけど、統廃合、再編を前提とした工事であれば、国が8割程度補助するというのはなかったか。

事務局) 学校環境改善交付金があるが、学校の普通の改修をするとき3分の1国が出してくれるようになっていて。それが統合による場合は、10分の5.5に上がる。実際、55パーセントになれば、市のほうも財政的なメリットはある。2校をそれぞれ運用していくのと比べるとSBを出して運用したほうが、財政面では楽になる。

参加者) 子どもたちの負担になってくる部分について、どのようなフォローをしていくのか。

事務局) 子供達のフォローについて、今の北中と西中に通っている1年生から3年生までの生徒にアンケートをとっている。生徒の環境をよくするために、「今の学校で好きな場所」、「好きではない場所」、その理由とか、「中学校にあったらいいなと思うもの」、「満足できていないこと」や、「変えてほしいこと」、などを聞いて、「心配ごとや悩みがあるときに相談はできますか」とか、「相談しやすい状況を教えてください」、「いつ」、「どこで」、「だれに」、なども聞き、子供達にどういうフォローができるかを考えている。

参加者) 12学級から18学級が適正規模と言われている中で、教員配置であったり、子供が少なくなってきたこの現状で、昭和にできた教員配置を適正に当てはめようとしているから、おかしいのではないかと考えている。また、専任教員でない方が教えたり弊害がある。小さな学校ではそういうところの問題があると言われているが、そういうところは、解決しようと思ったら、いくらでもできるのではないかと考えている。

事務局) 今の西中には非常勤講師として派遣等も行っている。

《意見》

- ①学校名、校章、校歌など新しいものにした方が良い。
- ②人口も減少しているので、市内で1つの中学校を作ればいい。
- ③もし、地域住民の声で統合しないとなったときに、子供達が不利益を受けないように合同部活動であったり、教員配置のことであったり、本当に柔軟にいろいろ考えてほしい。

以上

学校統合基本計画（案）地域住民・未就学児保護者説明会質疑等の概要

【今和泉小学校区】

○日時：令和6年2月8日（木） 19：00～20：15

○場所：今和泉小学校体育館 ○参加者：21名

参加者）60年位前に今和泉中と池田中が合併して西中になった時は、校章も校歌も新しくした。この計画では、ただ単に北中に吸収されると思ってしまう。新しい学校名にしようとは考えていないのか。

事務局）今の案は、なるべく早く西中を北中と統合して、望ましい教育環境で、学校施設もきれいした上で、子供たちに学んでほしいと考えて、教育委員会が出した案となっている。

今、この案についてどのように思うかのアンケートをとっている。案に対して「要望がある」とか、「この内容では反対」の結果が多ければ、この案を作り直す。「このままでいい」という意見が多ければ、このままのかたちになると思う。アンケートでも校名変更等についての意見が多ければ、また考え直さないといけないと思う。

参加者）アンケートは中学校の保護者だけか。地域の声も必要だと思う。

事務局）北中・西中校区の0歳から中学生までの子供のいる保護者全員と、その保護者を除く高校生から70代までの中から600人を抽出して地域の方にも送っている。600人のうち今和泉小区は82人が対象。今、案の状態なので、考え直さないといけないところがあれば、変更していく。

北中と西中を統合するという時に、どちらも歴史がある中で、北中のほうでも上手く統合ができるようなかたちにならないかと考え、北中のままというかたちで提案している。学校名を変えるとなると再編の協議に時間がかかる。そこは、今回のアンケートの結果で考えていきたい。

参加者）統合については賛成だが、西中への思いがあるので、例えば、学校名を北・西指宿中学校にはできないか。

事務局）今、アンケートをとっているので、7割以上の賛成があった場合は、それが重要視されると思うが、意見として対応する。

参加者）合併には賛成だが、生徒数の推移をみると減少傾向にある。20億かかるということも踏まえて、本当に長い目で見て、市内で1校が大事ではないか。ゆくゆくは、山川、開間もおそらく1校になると思う。そこも踏まえて考えたほうがいいのか。

事務局）30年後には、市内で600人程度の生徒なので、そのときは、一つの学校を考えないといけない時期になると思っている。子供たちをどこに集めるか、旧指宿地域内で、それだけの広さの土地、建設にかかる期間とか、議論が必要。市内で中学校1校、小学校も含めて1校にするというのは、その議論ができて初めて成立するものと思っている。どこに造るかで、地域の方、保護者、子供たちの環境が変わってくると思う。今も長期的には考えているが、今後検討していきたい。

参加者）アンケートを大事にするのであれば、もう少し広げて集約してほしい。そうしないと、納得しな

い。

40年後に一つになると言うが、山川中、開聞中、南中も残っている。今、北中と西中だけの問題になっている。やがては、大きな学校になるのか。

事務局) アンケートは明日締切なので、その結果を見た上で、もっと広げないといけないとなれば、対応していきたい。

この基本計画案は、「中学校再編の第1弾として西中と北中を統合する」と提案している。第2次基本方針では、「山川中と開聞中の統合」と「西中と北中の統合」を並べている。令和4年のアンケート結果では、西中と開聞中の「再編したい」という割合はほぼ一緒だったが、西中校区のほうでは、場所は「北中の場所でいい」という回答が多かった。開聞中校区の結果では、「開聞中の場所」、「新しい場所」、「山川中の場所」という回答。山川中校区は、「再編が必要ない」という回答も多く、お互いの意見が合わなかった。そこで、まず第1弾として、西中と北中で提案している。

今後、開聞中、山川中をどうするのかは、西中と北中の結果で大きく影響をされると思っている。この統合が仮に上手くいって統合できた。統合できた学校がすごくよくなったとなれば、やはり、開聞、山川もそれなりに進んでいくと思っている。開聞地域、山川地域にどうしても学校を残したいという声が多い場合は、新しい義務教育学校とかの学校を考えていかないといけないと思っている。

30年後には北中と南中でまた統合するのか、その時の山川、開聞中学校の学校のかたちがどうなっているかで変わってくる。

参加者) 今度から北中がブレザータイプに変わるが、統合後しばらくは西中の制服のままでいいとなっている。30人中、2、3人だけ西中の制服のままとなると、不登校の原因になるのではないか。

事務局) 北中の制服が今年の4月が変わるが、今の北中の子供たちも一斉に変えることはできない。今の北中の制服変更のスケジュールとほぼ同じにしている。西中の子だけが学生服、セーラー服ということにはならないと思っている。なるべく負担が少なくなるようにしていきたい。

参加者) 合併ありきで説明している。今の西中の子供たちの人数で学校のやり方が悪いから合併するのか。義務教育が成り立っていない感じで合併するとか、少し勘にこない。合併は少し早いのではないか。自分は反対。学校を潰せば、地域も潰れる。山川小が統合したときに、テレビで、アナウンサーが山川区長に「合併して地域の地価も4割ダウンしたが、これからどうしていきますか」と尋ねたら、まさかそういうインタビューをされるとは思ってもいなかったと思うが、「さあ、どうなりますかね」と一言だった。そういうことでいいのだろうか。

事務局) 山川小を統合した1年後に山川小の子供たちと保護者に対して、統合してどうだったかというアンケートをとった。「良かった」という意見が子供たちは8割以上、保護者も7割以上が「良かった」と、「前と変わらない」を含めると8割以上あった。ただ、地域の方の話を聞くと寂しいという。子供たちの声が聞こえない。学校で今まで運動会があれば歩いて行ってたのに、もう車で行かないといけなくなった。そういう声が多く聞こえる。

参加者) 義務教育は、1人でも千人でも関係ないと思う。何年前か、向こう6年間児童のいない小学校があって、7年目にしてやっと入学する児童がいたと。地域住民が揃ってその1年生を迎え、学校を立ち上げている。学校を閉めて、あなたたちが立ち上げることができるのか。できない。そういうこと

も考えないといけない。ただ、合併をすればいいものではない。今は、まだ早いという意見です。

事務局) 小学校と中学校で違うところもあるので、その辺も考えながら今後進めていきたい。

参加者) 校区の文化祭があった。西中のリコーダー同好会の生徒が演奏してくれたが、素晴らしかった。今度、全国大会に出場する。少人数でも素晴らしい活動をしている。これは、いいことだと思う。しかし、それだけではないわけで、なぜ、統廃合をしないといけないかというのは、課題があるから。その課題を解決するためには、やはり、統廃合をしていかないといけないのではないか。その辺を強く説明してほしい。

将来的には、市内で1中学校もあるかもしれないが、市内に1校となった場合、開聞、西中の通学の距離、時間を考えた時に、教育活動が充実するのか。通学時間をかけるよりは、教育活動、部活動に時間をかけたほうがいいのかという考えもある。また、市として、中学校を一つにまとめるという方向で検討していくのか、それとも、義務教育学校、小中一貫校を考えて、小学校と中学校を一緒にする、そういうのもこの計画の中に入れられたら、そういう展望も示してほしいと思う。いきなり、40年後は1校というふうにはならないのではないか。

きっかけとして、「部活動が選べない」というのが大きな理由なのか。今、部活動はそんな大きな課題ではないのかなと思う。クラブチームのほうで活躍している生徒もいる。課題としては、自分の学校の生徒だけで部活が成り立たない。今年は、A中学校と活動したけど、来年はB中学校と一緒にになり、3年間一緒にメンバーと部活ができないという現状も聞いたりする。そういうことなので、部活が選べないことはあまり大きな理由ではないと思っている。個人的な意見です。

教育環境のハード面で、北中はこういう改修工事があるというのは分かった。私が一番期待したいのが、教育活動面の環境、教科担任制も含めてです。統合されたら、こんな教育活動ができる。西中でもできたけれども一緒になれば、更にこういうのができると。魅力ある教育活動を考えて、構築して、説明をしていただければ、分かりやすい。そういういいことができるのであれば、早く統合しないといけない。そういう面は、学校教育課も一緒になって、統合したらこういう教育課程を組んで、こういう活動ができるよとしてほしい。

文化祭では、郷土芸能の発表もあったが、中学生が入っていない。地域では中学生をと言いながら、中学生が地域の活動に参加していない。そういうことにならないように、部活動の充実そういうものも合わせて説明していただければ、分かりやすい。今後、そういう説明をしていただきたい。

事務局) 山川は4小学校を再編して、小学校が一つになった。中学校が元々一つなので、今、1小1中ということで、連携もかなり上手くいっている状態。山川地域の小中学校を一つの義務教育学校にするのは、考えやすいのかなと思っている。開聞地域も、開聞中、山川中の統合が上手くいかなかった場合、また、開聞地域に学校を残してほしい、市としての市内の地域づくりとして学校を残すことが方向性として決まれば、開聞地域についても9年生の義務教育学校を検討していかないといけないと思っている。山川地域、開聞地域が義務教育学校としてできた場合、指宿市内で1校というのは、難しいとは思っている。指宿地域で1校はまた考えないといけないと思っている。やはり、通学で30分以上というのは、私たちも負担が大きすぎると思っている。子どもたちを一番に考えて進めていきたい。

部活動については、今の時点で部活動を選ばなくて、校区外通学をしている西中の生徒がたくさん

いる。子供も保護者も大変だという声が、結構な割合で入っている。やはり統合して、一緒にすることで、SBを使って部活に行ける、帰りも安全に帰れるというかたちになると思っている。中学校の部活は教育活動の一つなので、そこも含めてしっかりと対応していきたいと考えている。教育活動については、これからしっかりと、西中と北中の今までの活動を考慮しながら、新しい何かがこれからできていくのかというのを学校教育課とも相談しながら進めていければと考えている。

参加者) 西中の名前を残してほしいという意見があったが、西中のいいところも教育活動としてあるわけなので、そういうのも北中に持って行って融合したかたちでできれば、そういうことに繋がっていくのではないと思う。北中になったから、西中はゼロになるということではないのではないかと。

事務局) 西中はリコーダーや苔アートなど活発に行っている。そういうところも含めて、北中として一つになる提案はしているが、今後、学校の中身、教育活動は、どんどん変わっていくものになると思う。今後しっかりと検討していきたい。

教科担任制による課題。西中の教職員数は12名（校長も教頭も含む。）。実際この中で教科を持って教えている先生は、8名程度。技術、美術、家庭科については、先生の数がないので、臨時免許を取って対応したり、非常勤講師に教えてもらっている。やはり学級数が少ないことで、先生数が少ないというのは、すごく課題になっている。北中は、24人。専科の先生方で教え方の共有をしたり、質としては、上がってくると思う。小人数であれば、1人に対する時間はかけられるが、教育の環境としては、先生の多い環境のほうが、教育活動としては、充実していくのかなと思っている。小人数が悪いと言っているのではなく、少人数は少人数で、ゆっくりと子供たちに教えることができ、目が届いて良いところもあるが、指宿市内の子供たちの教育環境を同じレベルにしたいというのが一番の思いです。子供たちを一番に考えて、こういう提案をしている。

《意見》

- ①西中の名前を残して校名に取り入れてもらいたい。
- ②子どもが1人でもいれば、学校は残すべき、再編はまだ早い。
- ③将来的に市内で1校となることを踏まえて考えた方が良い。

以上